

つるおか

市議会

令和5年

6月定例会号

●R5.8.1 発行

Vol. 76

だより



先輩の技を学ぶ

櫛引中学校美術部では、同校卒業生で本市名誉市民でもある彫刻家、故・富樫実氏の作品「空に^{くわ}かける階段」を題材として、彫刻に取り組んでいます。生徒たちは、同じく同校卒業生である彫刻家の方に教えてもらいながら、作品の特徴を捉えようと、熱心に制作していました。

6月定例会の概要	P 2
議案一覧	P 3
定例会のポイント	P 4
委員会審査	P 6
総括質問	P 7
一般質問	P 10

6月定例会の概要

令和5年度補正予算、条例の一部改正など20件を審議

6月定例会は、6月13日に開会し、市当局が14件の議案を提出しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案、請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書2件を含め審議し、18日間の会期を経て、6月30日に閉会しました。（議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁）

市当局が議案を提出 6人が総括質問

開会初日は、市当局が報告5件、予算議案2件、条例議案1件、事件議案6件、計14件の議案を提出しました。報告は了承し、次に各会派を代表して6人

6月定例会日程

13日	本会議（総括質問） 予算特別委員会
15・16・19日	本会議（一般質問）
20～23日	常任委員会
29日	本会議 予算特別委員会
30日	本会議

市当局に対して、23人の議員が市政全般について一般質問を行

23人が一般質問

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案2件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

予算特別委員会を開催 各分科会に分割付託

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案2件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

20日に総務、21日に市民文教、22日に厚生、23日に産業建設の各常任委員会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。（審査内容は6頁）

また、総務、市民文教及び産業建設常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

請願1件を採択 予算特別委員会で分科会報告

29日の本会議では、意見書提出を求める請願2件について、各所管の常任委員長が審査報告を行い、請願第7号は表決の結果、全員賛成で採択とし、請願第6号は討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科会委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

意見書2件を可決 条例・事件 予算議案は全員賛成で可決

最終日の30日、議員提出の意見書2件を審議し、議会第7号及び議会第8号は表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議会第41号から議会第49号までの9件は全員賛成で承認及び可決しました。

続いて、3月定例会で継続審査とした請願第3号について、市民文教常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で採択としました。（審査内容は4～5頁）

最後に、追加議案として、市当局が議会第50号を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

議会Q&A

Q 会派とはどういうものですか。

A 同じ政党に所属する議員や同じような意見を持つ議員は、自分たちの考えを効果的に市政に反映させるため集まって活動しており、この団体を「会派」といいます。

鶴岡市議会の会派(人数)

※令和5年7月1日現在

- ①市民の声・鶴岡(2)
- ②SDGs鶴ヶ岡(2)
- ③市民フォーラム(2)
- ④日本共産党鶴岡市議団(4)
- ⑤鶴岡市議会公明党(3)
- ⑥新政クラブ(10)

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会による永年在職議員の表彰状の贈呈があり、議場において伝達を行いました。

在職20年以上

佐藤 博幸 議員

在職15年以上

小野 由夫 議員



▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
報第1号	令和4年度鶴岡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—
報第2号	令和4年度鶴岡市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—	—
報第3号	令和4年度鶴岡市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第4号	令和4年度鶴岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第5号	令和4年度鶴岡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
議第41号	令和4年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第3号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第42号	令和5年度鶴岡市一般会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第43号	鶴岡市大山コミュニティセンター改築工事請負契約の一部変更について	総務	可決 (全員賛成)
議第44号	財産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車）	総務	
議第45号	財産の取得について（消防軽積載車）	総務	
議第46号	鶴岡市火災予防条例の一部改正について	市民文教	
議第47号	三川町と鶴岡市との間の一般廃棄物の処理に係る事務の委託に関する規約の一部変更について	市民文教	
	し尿等の集約化処理施設を新たに整備するに当たり、三川町から本市への委託事務に、下水道処理施設におけるし尿、浄化槽汚泥等の一般廃棄物の処理を加えるもの		
議第48号	財産の取得について（くしびき温泉ゆーTown湯揚ポンプ）	厚生	
議第49号	市道路線の認定について	産業建設	
議第50号	西目地区土砂災害復旧工事請負契約の締結について	省略	

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第7号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第8号	地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律（仮称）の早期成立を求める意見書の提出について	省略	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第6号	沖縄への軍事力強化に依らず、日本国憲法前文の理念を遵守して近隣諸国との友好関係を堅持し平和を構築することを求める意見書の提出に関する請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第7号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願	産業建設	採択 (全員賛成)

▼継続審査請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第3号	（仮称）JRE加茂風力発電事業に対する鶴岡市の中止申し入れの撤回と調査の継続を求める請願	市民文教	採択 (賛成多数)

4月臨時会の概要

4月26日に4月臨時会を開催し、予算議案1件、条例議案2件、人事案件1件の審議を行いました。

提案説明の後、質疑、討論を行い、表決の結果、可決及び同意しました。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第37号	令和5年度鶴岡市一般会計補正予算（第1号）	省略	可決 (全員賛成)
議第38号	鶴岡市地域経済牽引事業促進のための固定資産税課税免除条例の一部改正について	省略	
議第39号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について	省略	可決 (賛成多数)
議第40号	鶴岡市名誉市民の称号を贈ることについて	省略	同意 (全員賛成)
	富田勝氏に名誉市民の称号を贈るもの		

6月定例会のポイント

請願
第3号

(仮称) J R E 加茂風力発電事業に対する鶴岡市の 中止申し入れの撤回と調査の継続を求める請願

賛成多数で採択

同請願は、加茂地区住民である請願者から市議会へ提出され、3月定例会で市民文教常任委員会に審査を付託しましたが、なお慎重に審査を行う必要があるとして、継続審査となっていました。

同委員会は、4月26日に協議会を開催し、市当局からこれまでの経過や状況について確認。6月21日の委員会で審査を行い、賛成多数で採択しました。

6月定例会最終日、同請願について、市民文教常任委員長が審査報告を行い、討論の後、採決をし、賛成多数で採択としました。採択した請願は、市長に送付し、その処理の経過と結果の報告を請求します。



？ 請願って何？

9ページで「請願と陳情について」
ご案内しています。

請 願 の 趣 旨

— 具体的な説明もなく中止申し入れ 調査もせずには諦めきれない —

加茂地区では、住民の声を踏まえ、鶴岡市のSDGsの施策に賛同しながら、風力発電が地域にもたらすプラスの効果などを含めて検討してきた。また、加茂・大山・上郷地区の各自治会・自治振興会が、J R E社(※)の風況調査の実施を承認したことから、請願者は、調査及び計画は順調に進んでいると思っていたが、市は、地域住民に具体的な説明を一切しないまま、2月1日に事業の中止申し入れを行った。請願者にとって、この中止申し入れは、そうした地域住民の夢を打ち砕くものであり、地域住民の声を反映したとは到底思えないものだった。

なお、請願者は、ラムサール条約登録湿地の重要

性を認めていないわけではなく、条約のベースにある自然と住民の共生という考えを理解した上で、どこに風車を建設すればラムサール条約登録湿地に影響を与えないか、調査をしっかりとしてほしいと考えており、調査の結果、事業の実施が困難であれば諦めざるを得ないが、調査もせずに事業が中止になることは諦めようにも諦めることができないと思っている。

以上の趣旨から、鶴岡市に対し、2月1日に市が行ったJ R E社への風力発電事業中止の申し入れを撤回するとともに、J R E社による調査の継続を認めることを求めたもの。

※J R E社…ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

委 員 会 で の 審 査

3月定例会及び6月定例会の市民文教常任委員会審査における質疑の一部を紹介します。

委 員

風力発電事業について、市から地元住民に最初に説明があったのはいつか。

紹介議員

事業計画当初から市による説明はなく、1月31日に、市として事業に対する中止の申し入れを行うという一方的な説明がなされたのが、唯一の説明である。

委 員

2月1日に市として事業の中止を申し入れた理由は。

当 局

当該事業地がラムサール条約登録湿地の近傍であり、クマタカなどの生息や営巣、渡り鳥の生息への影響が強く懸念されること、

また、一定の距離に複数の風力発電事業が集中した場合の累積的な影響が懸念されること、さらに、豊かな自然環境や多様な生態系が形成されている区域については、予防的な観点から事前に判断することが必要と考えたことの3点によるものである。

委 員

2月1日以降、加茂地区や他地区の地元住民から説明してほしいとの要請があったか。また、地元住民への説明は行っているか。

当 局

地元住民から説明に来てほしいとの要請は受けてはいないが、説明の要請があれば伺いたいと考えている。

反対

SDGs鶴ヶ岡

環境・景観保全のために妥当な判断

加茂地区の住民の心情は理解できるが、事業の調査継続の是非は、あくまで事業者の判断であり、市議会への請願としてはなじまない。また、ラムサール条約は国際条約であり、国内法に優越することから、地元や自治体の意向だけの問題ではない。景観保全の観点からも、北前船寄港地としての港町の景観と、山の上に林立する巨大風車群の両立は、あり得ないものと感じる。ラムサール条約による自然環境の保全や、日本遺産認定地域を標榜する本市として、事業の中止申入れを表明したことは極めて妥当な判断である。

請願第3号についての

討 論

表決の前に、
賛成か反対かの意見を表明します。
討論の要旨を掲載します。

討論の様子はYouTubeでもご覧いただけます。



YouTube
【鶴岡市議会チャンネル】

反対

日本共産党鶴岡市議団

自然環境への影響が懸念される

請願者には、JRE社からの支援により里山や林道を維持したいという思いがあるが、風力発電事業と地域振興は別の問題であると考えます。また、同社による三瀬地区の風力発電事業には、環境大臣が、生活環境や鳥類への影響を回避又は極力低減することを求めており、三瀬地区よりもラムサール条約登録湿地の近傍にある加茂地区での計画はあり得ない。再生可能エネルギーによる発電は、原子力発電に代わるものとして進めるべきと考えますが、生態系を含め、自然環境の破壊や土砂災害、健康被害などが懸念される電源開発は本末転倒であり、同意できません。

賛成

鶴岡市議会公明党

地元住民に十分な説明を

本請願は、風力発電を推進してほしいというのではなく、設置した場合の影響をしっかりと調査してほしいという趣旨である。少子高齢化が進む地域の存続を真剣に模索する加茂地区の住民の思いは、市当局も承知していたはずだ。中止の判断に至るまで、慎重に検討してきたとのことだが、中止を決めてすぐに記者発表するのではなく、現場に足を運んで丁寧に説明する努力が必要と考える。市から十分な説明がない状態では、地元住民から説明を求める声が上がるのは当然であり、調査結果を知って納得したいと思う心情は理解できる。

反対

市民の声・鶴岡

守っていくべき自然環境

市は、ラムサール条約登録湿地に飛来する鳥類への影響について、専門家の意見を聴き、判断するのに十分なデータがそろったとして事業の中止要請をしている。国際的な視点からも、国際条約登録湿地近傍での風車建設中止の判断は妥当であるし、県も望ましくないとしている。また、風車騒音による健康への影響や、建設のための森林開発によって起きる土砂災害のリスクも、将来にわたって地元住民に関わる問題であると考えます。慎重な調査の上、予防原則に基づき判断した中止申入れを撤回することは、事業を認めることになると考え、容認できません。

賛成

新政クラブ

一方的な事業中止申入れには反対

国や県の考え方は、「再生可能エネルギー導入推進と自然環境の保護については、その場所の特性も考慮し、バランスを考えて事業を計画・実施すること、環境影響評価などの調査内容について、地元住民に丁寧に説明することが必要である」と理解している。現時点でもまだ、市当局は地元住民の思いをしっかりと受け止める場を作っていない。住民の思いに蓋をしたままの状態は続いている。市長の掲げる「対話」を行い、地元住民の思いをしっかりと受け止め、その上で、事業の中止申入れは白紙に戻すべきである。

委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

予算特別委員会 総務分科会

庄内羽田5便化に伴う県の協力は

委員 庄内空港利用振興協議会負担金の増額は、庄内羽田線の5便化に伴うものとの説明だが、5便化について、県はどのような協力をしているのか。

地域振興課長 同協議会は、庄内総合支庁が事務局となっており、利用増進に向けた様々な取組を行っている。このたびの増便に伴い、500万円を各市町で按分して負担するが、県も1,000万円を負担することになっている。

列車番号	庄内	羽田	庄内	羽田	庄内	羽田
ANA395	7:05	8:05	ANA396	7:10	8:15	
ANA396		10:35	ANA397	8:45	9:50	
ANA397	11:25	12:25	ANA398	12:15	13:20	14:10
ANA398	13:10	14:10	ANA399	14:55	16:00	
ANA399	16:05	17:05	ANA400	17:45	18:50	
ANA400	20:30	21:30				

市民文教常任委員会

火災予防条例改正による影響は

委員 一般家庭でも電気自動車が増えし始め、急速充電設備の設置

も増加しているが、電気自動車等を充電する急速充電設備の規制内容の改正に伴い、一般家庭が新たに対応しなければならぬことがあるのか。

消防本部予防課長 20kWを超える急速充電設備が規制の対象となるが、一般家庭の充電器は容量が小さいため、規制の対象ではなく、家庭で対応を要することはない。



し尿集約化処理施設整備で三川町との委託契約内容は

委員 令和2年度の廃棄物処理実績について、全体に占める三川町分の割合は、また、新たなし尿集約化処理施設の整備に際しては、同町の負担を、それぞれの処理割合から按分して求めることになるのか。

廃棄物対策課長 2年度のし尿等の廃棄物処理実績における、廃棄物処理全体に対する三川町分の割合は7・4%である。し尿集約化処理施設の整備に係る負担割合については、平等割の考え方に基いて同町に負担を求めることにな

り、単純な処理割合による按分ではない。

予算特別委員会 厚生分科会

ワクチン個別接種の対応状況は

委員 新型コロナウイルスの秋接種に際し、接種可能な医療機関が少なくなってきたように思うが、現状とその理由は。

ワクチン接種対策室長 現在、50弱の医療機関が個別接種を行っている。確かに接種を実施しなくなった医療機関もあるが、その判断や理由までは把握していない。市民から接種できないという声はなく、円滑に接種が行われていると考えている。

委員 個別接種促進協力金制度の内容と、この制度による医療機関への影響は。

ワクチン接種対策室長 医療機関が、週100回以上の個別接種を4週間以上実施した場合、その週における接種回数に応じて、1回当たり2,000円の上乗せをして協力を支給する制度である。医療機関が接種をするかしないかの判断に対して、この制度自体が影響を及ぼしているとは捉えていない。

予算特別委員会 産業建設分科会

産地生産基盤パワーアップ事業の概要は

委員 国の同事業について、市の目指す方向性と事業内容は。

農林水産部長 この事業の目的は、TTP対策として、海外依存度の高い農産物について、国内生産力を高めていくことであり、市では、麦や大豆の生産拡大に向けて活用していく。具体的には、トラクターやコンバインなどの農業用機械の導入を支援するものである。

農地集約化への支援は

委員 つるおか農業経営体支援事業について、補助金の交付要件は。また、交付対象者は確定しているのか。

農政課主幹 人・農地プランの中心経営体であり、農地の集約を指している経営体であることが交付要件であり、現時点で9経営体が採択を受けている。



総括質問

市長提出議案に対して、
会派を代表して質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している
録画配信や会議録で全てご覧いただけます。
原稿は質問した議員本人の責任において執筆
しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

地域農業の将来に向けた農地集約化の計画は

新政クラブ 渋谷 耕一 議員



議員 大型農業機械の導入に係る補助等が大きく予算化されている。それと併せて、ほ場整備も含めた農地集約化の計画策定が必要と考えるが、市の見解は。

市長 農業者の減少や高齢化が進む中、認定農業者等の中心経営体への農地集約を進めるとともに、大型機械導入に支援することは、生産性と作業効率の向上を図る上で重要な担い手支援策であり、地域農業の維持発展につながる認識している。今年度から2か年で進める地域計画の策定において、将来の農地利用の姿を明確化するため、地域で話し合いを行うこととしており、中心となる担い手への農地集約を更に進める契機になると考えている。アンケート調査等で地域の実情を把握し、農地集約化も含めた地域農業の姿を明確にしながら、農業委員会や農協等関係団体と連携して計画策定に取り組んでいく。

ほかの質問

観光戦略と観光振興、
総合計画、し尿集約化
処理施設整備事業等

市の就学、就労、雇用実態は

日本共産党鶴岡市議団 菅井 巖 議員



議員 今春の本市高卒者の進学と就労の実態は。

市長 高卒者1、174人のうち就職者は317人で、人数・割合ともに前年より減少したが、庄内への就職率は70%と増加している。進学者は840人で、割合は前年比増であり、特に女子の首都圏進学が増えている。

議員 非正規雇用の実態は。また、外国人労働者の実態とその相談体制は。

市長 昨年度の調査では、市内事業所の従業員のうち非正規雇用の割合は約20%となっている。また、昨年10月現在のハローワーク鶴岡管内の外国人労働者477人のうち、251人が技能実習生、75人が特定技能者を含む専門・技術分野の労働者である。外国出身者の相談には出羽庄内国際村に設置の窓口で対応しており、昨年度は労働相談13件を含む127件の相談があった。

ほかの質問

新型コロナ、第2次鶴
岡市総合計画の後期基
本計画策定、農業

人手不足の現状と対策は

鶴岡市議会公明党 秋葉 雄 議員



議員 本市の有効求人倍率は県全体の水準を上回り、好景気が続いているように見えるが、企業

の実態は、深刻な人手不足で、仕事を受注できなかつたり、従業員に長時間労働を強いったりする状況に陥っている。これが若者の流出につながっているのではないかと危惧しているが、市として、人手不足の現状をどう捉えているか。また、現在、国が進めている技能実習制度の改善についてどう捉えているか。

市長 現在、ほぼ全ての職種で人手不足の状況にあり、人口減少や若者の県外流出がその課題と捉えている。技能実習制度については、長期雇用や日本語能力の高い人材確保が期待できる新制度が検討されており、今後の国の動きを注視していく。若者の地元回帰や移住、外国人労働者の受入れなど、人材確保に向けた強化が重要であり、施策の更なる充実に取り組んでいく。

ほかの質問

観光誘客の取組、第2次鶴岡市総合計画の後期基本計画策定

新型コロナウイルスワクチン接種における市の見解は

市民の声・鶴岡 遠藤 初子 議員



議員 市民一人ひとりが新型コロナウイルスのメットもデメリットも理解した上で、接種するかどうかを判断できるように、

市として取り組むことが望ましいと考える。全国でワクチン接種後に2,000人以上が亡くなっている現状を市はどう受け止め、今後、接種事業にどう取り組んでいくのか。

市長 4月28日に開催された国の審議会では、接種後死亡として報告された事例2,058件のうち、ワクチンとの因果関係が否定できないものは1件とされている。市としては、こうした国の評価、判断等を踏まえ、引き続きワクチン接種を実施していくが、接種に当たっては、副反応のリスクを明記したワクチンの説明書や、国のリーフレットなどを接種券に同封して送付しながら、本人の意思を尊重し、市民自らの判断で接種ができるよう進めていく。

ほかの質問

し尿集約化処理施設整備事業

総合計画の後期基本計画に向けた対策は

市民フォーラム 工藤 博 議員



議員 第2次鶴岡市総合計画の中間総括において、評価・検証で不十分とされた項目や課題について、後期基本計画ではどのような対策を講じていくのか。

市長 施策や事業実施の方向性に誤りがないか、やり方に問題はないか、事業量が適切だったかなど、原因を見極めながら適切な対応を図っていきたい。

議員 後期基本計画における取組の重点課題として「5つの加速化アクション」を設定しているが、地域の活性化も重点課題に加える必要があるのでは。

市長 地域の活性化については、総合計画の施策の大綱である「地域の振興」に基づき、引き続き取り組んでいく。後期基本計画策定に当たっては、各地域に設置した住民代表者等で構成される地域振興懇談会で、幅広い視点から意見交換を行い、今後の方向性やより良い振興策・活性化策の検討を進めている。

ほかの質問

なし

インバウンド観光誘客のための取組は

SDGs 鶴ヶ岡 南波 純 議員



議員 インバウンド(※)観光客を受け入れるための市内各観光地・施設との連携、環境整備は。

市長 英語以外の外国語対応が課題であり、DEGAに委託し、出羽庄内国際村の支援を受けながら、多言語に対応できるガイドの育成に努める。また、施設内の表記は、本市を訪れる観光客が多い国の言語を優先して整備するなど、関係者の意見を聞きながら検討していく。

議員 本市の魅力在海外に伝えるため、今後どのように情報発信に取り組んでいくのか。

市長 7か国語に対応した観光情報を発信するウェブサイトを「つるおか観光ナビ」の外国語版をリニューアルし、体験コンテンツのオンライン予約を追加するなど、更なる充実を図る。また、発信力のあるメディア等と連携した情報発信の強化に取り組むとともに、SNSの更新も積極的に行っていく。

ほかの質問

航空路線の拡大など今後の航空交通の取組

※インバウンド…訪日外国人

議会に要望を届けよう！

～請願・陳情を提出するには～

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として、請願書や陳情書を提出する制度があります。その内容と市議会の対応について紹介します。

請 願

誰が提出できるの？

どなたでも提出できます。

※ただし、請願の趣旨に賛同する
鶴岡市議会議員の紹介が必要

いつまで提出すればいいの？

いつでも提出できます。

なお、各定例会で扱うためには定例会開会の5日前（土曜・日曜日、祝日除く）の午後1時まで



議会の対応は？

所管の委員会で審査し、最終的に本会議で採択・不採択を採決します。

基本的な請願審査の流れ

請願書の受理

本会議で所管委員会に付託

所管委員会での審査

本会議で委員長が
審査内容を報告、
全議員で採択・不採択を
採決

採択の場合

市長や国の関係機関に
その実現を要請

陳 情

誰が提出できるの？

どなたでも提出できます。

※鶴岡市議会議員の紹介は不要

いつまで提出すればいいの？

いつでも提出できます。

なお、各定例会で扱うためには定例会開会の5日前（土曜・日曜日、祝日除く）の午後1時まで



議会の対応は？

所管の委員会で意見交換を行うか、議会運営委員会に報告します。

市議会ホームページに提出
方法等を掲載しています。



百条調査 特別委員会

3月定例会で中間報告を行いました。その後は、本委員会に付託された2つの調査事項(※)のうち、主に皆川市長が平成29年10月の市長選挙期間中に、当時の支援者から受領した100万円の寄付を選挙運動費用収支報告書に記載していなかった事項について審査をしています。

委員会では、「100万円授受後の支援者とのやり取りについて」など14の事案を抽出し、その事案について、①確認された事実の認定、②証人尋問における証言内容の相違点、③法的な見解等の協議を経て、④委員会としての判断を決定しました。これにより100万円授受に係る実質的な調査を終了したことから、今後は当該事項の調査報告書の作成及び本市職員に対するパワハラ疑惑に関する調査を進めていきます。

※調査事項…①選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題に関する事項、②本市職員に対するパワハラ疑惑に関する事項

植物・昆虫標本など 庄内自然史の展示を

草 島 進 一 議員



議員 牧野富太郎博士をモデルにしたNHK朝ドラが放映中だ。庄内にも植物、昆虫類を標本保管している研究者がいることから、旧アマゾン民族館を使い、庄内自然史の展示を行っては。

教育部長 牧野博士は、本市の植物学者である松森胤保の『両羽博物図譜』に感嘆したと聞く。県立博物館による植物や昆虫標本の移動博物展について、本市の受入れ態勢を調整した上で、県に開催を要望できるか検討していく。

議員 県立博物館の次の構想として、鶴岡、庄内への分館設置を重要要望に加えてはどうか。

市長 移動博物展等も含め、よく検討したい。

ほかの質問

暫定2車線高速道（山形道、日沿道）の安全化、PFAS汚染と下水道汚泥コンポスト

一般質問

市政全般について考え方や方針などを
市当局に質問します。

各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

※総括質問を行った議員を除く18人の質問を掲載します。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



乳幼児期における 発達支援の現状は

田 中 宏 議員



議員 発達障害は早期発見・早期支援が重要だ。乳幼児健診での対応とその後の支援状況は。

健康福祉部長 昨年度、発達障害疑いは3歳児健診で25件あり、児童相談所の精神発達健康診査や小児科受診につなげた。要経過観察は1歳6か月児健診で117件、3歳児健診で166件あり、個別面談や保育所訪問を実施し、療育が必要と判断した60件に対して更に個別相談を実施した。障害のある子が療育や訓練を受けるための障害福祉サービス受給者証は、4月時点で、1歳児2件、2歳児1件、3歳児11件、4歳児4件、5歳児16件の計34件を交付している。

ほかの質問

防災・減災、持続可能な地域医療

学校給食の将来像 市民意見を聴き反映へ

石 井 清 則 議員



議員 新学校給食センターの基本構想では、7,000食を提供可能と具体的数字が示され、将来的な施設統合も見据えている。しかし、その規模では、目指すセンター像にある、アレルギー対応や調理終了後から2時間以内の喫食、地産地消等への対応は難しいと考える。新センターの規模と市全体の給食センター配置の考えは。

教育部長 今年度、課題整理や規模の精査等を行い、児童生徒数の推移や各施設の稼働率等を見極め、市全体でのセンター配置も慎重に判断する。計画を進める段階ごとに関係者に丁寧に説明し、意見を聴き反映させていく。

ほかの質問

情報管理と情報発信、市民所得の向上

介護保険認定の短縮化に向けた対応は



坂本昌栄 議員

議員 要介護状態区分変更等の認定への対応は。
健康福祉部長 今年度から更新審査を委託している事業所に、区分変更調査の一部も委託した。調査票の入力方法の見直しなど、事務の効率化に努め、認定の遅れ縮減に努めている。

議員 介護認定に30日以上要している件数は。また、30日以上要する場合は、その理由等を通知し延期できるとされているが、本市の状況は。

健康福祉部長 令和4年度は新規及び区分変更申請3,057件のうち2,717件あった。5年5月申請分から通知を発出しているが、迅速な認定を行うため、更なる業務の効率化を図っていく。

ほかの質問

民生委員・児童委員、福祉バスの利用

本市のスポーツ振興に一層力を入れるべき



黒井浩之 議員

議員 スポーツ推進計画にはプロスポーツチームとの連携が掲げられている。バレーボールV1リーグ昇格を果たしたアランマーレと交流を深めて、応援の機運を盛り上げていくべきでは。

教育部長 アランマーレとは相互支援・協力に関する協定を締結しており、協定に基づいた取組を着実に進め、応援の機運を醸成していく。

議員 多くの体育施設から資機材や運動用具の修繕要望があると思うが、なかなか直らないとの声を利用者から聞く。修繕対応への考え方は。

教育部長 修繕が必要な箇所をリストアップし、緊急性等の優先順位を定めながら対応していく。

ほかの質問

学校給食センター整備基本構想、リノベーションのまちづくり

土砂災害対策に3次元点群データの整備を



加藤 鑑一 議員

議員 令和3年に熱海市で発生した土石流災害の際、静岡県は3次元点群データ（※）により地形変化の状況をいち早く把握し、搜索や復旧に役立てた。西目土砂災害を受け、市は、県にその整備を要請すべきでは。

危機管理監 静岡県では、県内のほぼ全域について、3次元点群データで作り出した仮想空間を公開している。これは防災面だけでなく、インフラの維持管理や観光、文化財保存、森林管理等への応用など、今後の発展が期待される先進的な技術であり、県に情報提供をした上で、全国での活用事例や普及状況を注視していく。

ほかの質問

小中一貫教育

信号機やカーブミラーの設置状況は



長谷川 剛 議員

議員 近年、本市の交通事故発生件数、負傷者数は減少傾向だが、新興住宅地の造成に伴う交通量の変化等により新たな危険箇所が増えている。危険箇所への信号機やカーブミラーの設置要望と設置の状況は。

危機管理監 信号機は警察署からの推薦で県公安委員会が設置しており、昨年度は2件の要望があったが、設置はなかった。カーブミラーは市全体で約2,400基あり、毎年約60基の新設や更新を行っている。昨年度は約140件の要望に対し10基を新設、54基を更新しており、既存設備の老朽化により更新件数が増えている。

ほかの質問

子育て支援、マイナンバーカード

※ 3次元点群データ…レーザースカナ等で測量した経度や緯度、標高の位置情報を持った点の集まりのデータ。

地域医療・在宅医療 体制の構築は

佐藤 博幸 議員



議員 地域医療体制の構築を進めるには、公立・民間の各医療機関の自主的な検討と、地域関係者との議論が大切と考えるが、市の方針は。

病院事業管理者 今年度策定予定の経営強化プランを基に、地域の医療資源の有効活用と医療連携を進め、地域のニーズに対応していきたい。

議員 県の計画では、安心して療養生活を送ることができる体制の確保を進めるとしているが、在宅医療体制の構築における荘内病院の役割は。

病院事業管理者 情報共有や意見交換で関係機関と連携を強化しつつ、医療・介護サービスを適切に供給し、市立病院の役割を果たしていく。

ほかの質問

なし

多様な農業経営体の 育成を

阿部 寛 議員



議員 農業者の減少により、農村では地域の保全活動に影響が出ている。農業者が地域に果たす役割は大きく、多様な経営体を育成・確保することが重要と考えるが、市の考えは。

農林水産部長 中小・家族経営をはじめ、兼業農家や定年帰農者など、多様な経営体を担い手として育成・確保するためには、実態や段階に応じた幅広い支援策を講じることが重要であると考えている。個々の経営体への支援に加えて、鳥獣被害対策など地域ぐるみで取り組む活動への支援を組み合わせることで、農村地域の活性化や担い手の育成・確保につなげていきたい。

ほかの質問

なし

危険空き家解体後の 解体材の搬出は

佐藤 昌哉 議員



議員 市が応急措置で危険空き家を解体した後、解体材がそのまま積み上げられている箇所が複数ある。双葉町では、解体材近くで火災があったり、ごみが捨てられたりしている。また、宝町の場合は、住宅密集地の狭い道路に解体材が積まれ、景観や衛生面含め生活環境が阻害されているように感じる。早急な対応が必要では。

市民部長 解体材が生活環境に影響を及ぼさないよう応急措置等で対応している。宝町の件は、相続関係人に解体材撤去の同意を働き掛けている。空き家関係者の話を聞きながら、利用可能な制度の活用等、様々な手法を検討していく。

ほかの質問

新産業団地

奨学金返済支援事業 財政負担の見通しは

尾形 昌彦 議員



議員 奨学金返済支援事業の認定状況は。

企画部長 令和3年度は学生応募枠90人、社会人応募枠4人の計94人、4年度は学生応募枠49人、社会人応募枠6人の計55人を認定している。今年度は6月12日時点で9人から応募があった。

議員 実際に返済支援が始まる6年度以降の市の支出状況の見通しは。

企画部長 毎年度50人が応募し、うち40人が地元に戻ると想定した場合、市の支出は支援開始の6年度以降徐々に増加し、16年度には市の独自支援と県との協調支援を合わせて約7,000万円に達し、以降同規模の支出を見込んでいる。

ほかの質問

海洋教育の推進、
(仮称) J R E 加茂風力発電事業

天神祭の活気を 取り戻すには

佐藤久樹議員



議員 天神祭パレードに参加した際、拡幅した川端通りににぎわいがなく、もったいなく感じた。飲食店出店スペースを確保してはどうか。

商工観光部長 出店によるにぎわい創出で各商店街の活性化を図ることは重要な観点であると考えており、場所を含め、より効果的な出店について、今後、実行委員会で十分検討していきたい。また、今年度は鶴岡公園や荘銀タクト、パレードの沿道に約170の出店があったが、出店数の拡大も重要な課題であると考えているので、今後、分かりやすい公募方法などについても検討していく。

ほかの質問

都市計画ビジョン、市職員の副業

(仮称)学生議会を 開催しては

中沢深雪議員



議員 子どもや若者が住みたいと思えるまちをつくるためには、彼らから意見を聴き、政策に反映させることが重要である。意見を事業化して予算を組み、実現させる機会として「(仮称)学生議会」を設置してはどうか。

総務部長 学生議会は、学生が地域課題を自分ごとと捉え解決策を探る機会になるとともに、市政にも新しい視点加わり、より幅広く多様な考えを各種政策に取り入れられることが期待できる。学生や若者などの提言や意見を市政に生かすための効果的な手法を、ほかの自治体の例も参考にしながら検討していきたい。

ほかの質問

子どもの遊び場、体育施設の利用方法

重要事業要望活動

5月15日に議長、副議長、総務常任委員長、産業建設常任委員長・高速交通等対策特別委員長が田河川国道事務所、東北地方整備局及び東北農政局を訪問し、幹部と面会の上、日沿道の日も早い全線開通や農業の振興施策など、本市の重要事業について要望活動を行いました。市議会では、要望事項の実現に向けて、今後も関係省庁等に対し、働き掛けを行っていきます。



東北地方整備局副局長に要望書を提出

庄内南部中央道路 新設への取組は

小野由夫議員



議員 日本海沿岸道につなぐ庄内の大動脈である庄内南部中央道路（国道7号・国道47号連絡道路）の新設は、一地域のみならず、限界がある。庄内南部地域全体での要望活動が不可欠と思うが、今後、どう取り組んでいくのか。

建設部長 同道路は、新潟方面と新庄方面を短距離で結ぶものになり、物流や観光振興のほか、災害緊急時の対応にも大きく寄与すると認識している。今後の取組を検討するとともに、県への要望活動にもしっかり対応したい。

市長 県をはじめ、関係自治体で課題を整理し、どのような要望活動をすべきか協議していく。

ほかの質問

人口減少対策の根幹である子育て政策

委員会視察報告

先進的な施策を実施する自治体の
視察を行いました。
その概要をお知らせします。

市民文教常任委員会

5月15日～18日

長崎県諫早市 スポーツ振興によるまちづくり

「スポーツのまち諫早」を掲げる諫早市では、スポーツ拠点施設の整備、生涯スポーツの振興、スポーツツーリズムによる交流人口の拡大を重点プロジェクトとしている。市内には多くのスポーツ施設があり、令和2年度にスポーツ施設計画を策定し、適切な施設管理や計画的な改修による財政負担の平準化、市民のニーズに即した有効活用に努め、老朽化施設については、個別の整備計画の策定や、市民の理解を得ながら施設の集約化などの対応をしている。また、宿泊を伴う大会等の主催者に助成金を交付し、観光消費の増加を目指しており、本市にとって参考になる取組を伺うことができた。



ほかの視察先と視察項目

佐賀県武雄市…ICTを活用した教育
長崎県大村市…県・市一体複合型図書館
長崎県長崎市…自治体新電力

産業建設常任委員会

5月22日～24日

愛媛県今治市 滞在型農園施設で移住促進

「ラントウレーベン大三島」は今治市の滞在型農園施設で、ラントウレーベンはドイツ語で田舎暮らし・田園生活を意味する。開設21年目を迎えた同施設は、増加傾向にある遊休農地・耕作放棄地の有効活用や都市と農村の交流による地域活性化と移住促進を目的に設置され、現在まで、北海道から九州まで全国から108人が入居し、うち37人が移住に至った。滞在施設や施設用地、ビニールハウス等の整備費の2分の1は国の補助事業を活用している。地元住民で構成する管理組合が施設を運営し、交流イベントや農業生産指導をしながらの移住定住支援活動は、参考になる取組であった。



ほかの視察先と視察項目

愛媛県四国中央市…工業団地整備の取組
徳島県徳島市…広告収入を活用した
観光案内板整備の取組

厚生常任委員会

5月29日～31日

奈良県橿原市 子育て支援のワンストップ化

橿原市では、乳幼児期から就学期の子どもに対し、保健・福祉・教育等の総合的な視点から療育・相談・研修等を行う施設「子ども総合支援センター」を開所している。同センターでは、奈良県立医科大学との連携によって、利用者が医師に相談できるほか、言語聴覚士や作業療法士等の専門職を配置し、成長段階で気になることがある子どもとその家族に対して、総合的に支援できる体制をとっている。開所の背景には、療育施設の利用者の増加、分散的な支援体制などがあった。本市でも発達障害等の相談に対するニーズが増えていると聞くことがあり、今後の取組に向けて大変参考になった。



ほかの視察先と視察項目

滋賀県野洲市…市民生活相談課事業・保育人材確保対策事業など
和歌山県紀の川市…フレイル予防推進のまち事業

※総務常任委員会の視察報告は9月定例会号(11月1日発行)でお知らせする予定です。

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
3	4	本会議 (開会・総括質問)	6	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問) 議会運営委員会	9
10	11	本会議 (一般質問)	決算特別委員会 予算特別委員会	総務 常任委員会	市民文教 常任委員会	16
17	18 (敬老の日)	産業建設 常任委員会	常任委員会 予備日	常任委員会 予備日	22	23 (秋分の日)
24	25	26 議会運営委員会	27 決算特別委員会 予算特別委員会	28 本会議 (表決・閉会)	請願・陳情 提出期限 8月29日(火)午後1時	

※各会議の開会時刻は午前10時です。
午後にはわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴するには

- ◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。本所4階ロビーに傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は64人です。
- ◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行います。傍聴の定員は5〜20人程度です。
- ※本会議又は委員会を団体で傍聴する場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画配信も視聴できます。



議会傍聴アンケート

6月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・議員も職員も、もっと市民に「見られている」という意識を持って臨んでほしい。そのために私たち市民も市政への関心を高めていかなければならないと思いました。楽しかったのでまた来たいです。

議会の会議録を閲覧するには

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。

◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。



傍聴の様子(大泉小3年生の皆さん)

編集後記

6月定例会では、新学校給食センターの整備に関する一般質問が多くありました。児童生徒に豊かな食事を提供し、また、職員が働きやすい安全安心なセンターとなるよう、今後も、市民の皆さんの声を聴いていきたいと思っています。

そのほか、子育て施策や高齢者の健康づくりに関する質問もあり、その重要性を再認識したところです。

子どもたちが安全に通学できるよう、多くの地域で住民の方が見守り隊として活動しています。高齢の方も多く、皆さんの元気な姿に励まされています。また、空き家を活用し、子どもから高齢者まで世代を超えて住民が集い、交流する居場所を整備した地区もあります。住民同士が寄り添い、生き生きと暮らし続けるために、これからはこのような取組も必要になってくるのだと思います。

広報広聴委員会委員

阿部 寛

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

